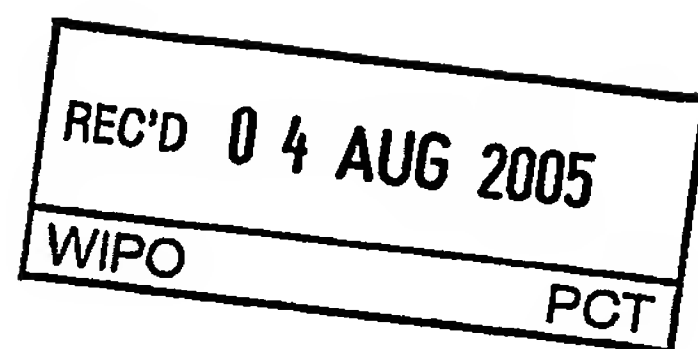


# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）  
〔PCT36条及びPCT規則70〕



出願人又は代理人 の書類記号 904442	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/016122	国際出願日 (日.月.年) 29.10.2004	優先日 (日.月.年) 31.10.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> G06F17/21		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>4</u> ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>7</u> ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとのこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第II欄 優先権</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input type="checkbox"/> 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 15.06.2005	国際予備審査報告を作成した日 12.07.2005		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 成瀬 博之	5M	9192
		電話番号 03-3581-1101 内線 3599	

## 第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。  
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-58 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1-18 \_\_\_\_\_ 項\*、15.06.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-39 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☒ 請求の範囲 第 19-44 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

## 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 1-18

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 \_\_\_\_\_ の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 \_\_\_\_\_ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☒ 請求の範囲 1-18 \_\_\_\_\_ について、国際調査報告が作成されていない。

☐ スクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

☐ 提出されていない。

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の技術的な要件を満たしていない。

☒ 詳細については補充欄を参照すること。

## 補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

## 第 III 欄の続き

15.06.2005 付けで補正された補正後の請求項 1-18 は、国際調査報告が作成された、補正前の請求項 1-3 と実質的に内容が変更されている。

よって、補正後の請求項 1-18 に係る発明について、国際調査報告は作成されていない。

## 請求の範囲

- [1] (補正後)メッセージデータを作成するときに用いられるメッセージ作成補助情報とメッセージデータを閲覧するために用いられるメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む、メッセージデータまたはテンプレートデータである第1のデータを取得する取得部と、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を利用して、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を編集することで前記メッセージ閲覧用情報を編集し、前記メッセージ作成補助情報と前記編集されたメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む第2のデータを生成するメッセージ編集作成部とを備え、

前記第1のデータおよび前記第2のデータに含まれる前記複数個の情報の各々は、前記メッセージ作成補助情報と前記メッセージ閲覧用情報のいずれか一方または両方の構成要素である、データ処理装置。

- [2] (補正後)メッセージデータを作成するときに用いられるメッセージ作成補助情報とメッセージデータを閲覧するために用いられるメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む、メッセージデータである第1のデータを取得する取得部と、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を利用して、前記メッセージデータを閲覧のために再生するメッセージ再生部と、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を利用して、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を編集することで、前記メッセージ再生部により再生した前記メッセージ閲覧用情報を編集し、前記メッセージ作成補助情報と前記編集されたメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む第2のデータを生成するメッセージ編集作成部とを備え、

前記第1のデータおよび前記第2のデータに含まれる前記複数個の情報の各々は、前記メッセージ作成補助情報と前記メッセージ閲覧用情報のいずれか一方または



両方の構成要素である、データ処理装置。

- [3] (補正後)前記第1のデータは、メッセージデータであって、前記メッセージ閲覧用情報の構成要素であるメディアデータを1個以上含み、  
前記メッセージ作成補助情報は、前記1個以上のメディアデータのうちの編集可能なものを指定する情報を含み、  
前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報を利用して、前記1個以上のメディアデータのうち前記編集可能に指定されたメディアデータの編集を受付ける、請求項1または2記載のデータ処理装置。
- [4] (補正後)前記第1のデータは、タグを利用して記述されたデータであって、  
前記タグは、前記メッセージ作成補助情報の構成要素であることを表わすタグを含み、  
前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報の構成要素であることを示すタグを利用して、前記第1のデータに含まれる前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を判断する、請求項1または2記載のデータ処理装置。
- [5] (補正後)前記第1のデータは、タグを利用して記述されたデータであって、  
前記タグは、前記メッセージ作成補助情報の構成要素以外であることを表わすタグを含み、  
前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報の構成要素以外であることを示すタグを利用して、前記第1のデータに含まれる前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を判断する、請求項1または2記載のデータ処理装置。
- [6] (補正後)前記第1のデータは、前記第1のデータに含まれる情報のうち、前記メッセージ作成補助情報の構成要素がいずれであるか、および／または前記メッセージ閲覧用情報の構成要素がいずれであるかを表わす構成要素情報を含み、  
前記メッセージ編集作成部は、前記構成要素情報に基づいて、前記第1のデータに含まれる前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を判断する、請求項1または2記載のデータ処理装置。
- [7] (補正後)前記構成要素情報は、前記第1のデータのヘッダ領域に含まれ、  
前記メッセージ編集作成部は、前記第1データのヘッダ領域に含まれる構成要素

情報に基づいて、前記第1のデータに含まれる前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を判断する、請求項6記載のデータ処理装置。

- [8] (補正後)前記データ処理装置は、さらに、  
前記第2のデータを送信するための通信部を備える、請求項1～7のいずれかに記載のデータ処理装置。

- [9] (補正後)前記取得部は、外部のデータ処理装置から前記第1のデータを受信する、請求項1～7のいずれかに記載のデータ処理装置。

- [10] (補正後)前記第1のデータは、前記メッセージ閲覧用情報の構成要素であるメディアデータを含み、

前記メッセージ作成補助情報は、前記メディアデータの編集のために起動する外部の装置の機能を表わす情報を含み、

前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報を利用して外部の装置にアクセスし、前記外部の装置から提供される機能を用いて、前記メッセージ閲覧用情報に含まれるメディアデータを編集する、請求項1または2記載のデータ処理装置。

- [11] (補正後)前記メッセージ作成補助情報は、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報の編集補助のためのデータまたは機能を提供する提供元を特定する情報を含み、

前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報内の前記提供元を特定する情報にしたがって、前記提供元にアクセスして、前記編集補助のためのデータまたは機能の提供を受けて、前記メッセージ閲覧用情報の編集の一部または全部を行なう、請求項1または2記載のデータ処理装置。

- [12] (補正後)前記第1のデータは、メッセージデータであり、  
前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージデータの作成のために使用されたテンプレートデータの提供元を特定する情報を前記メッセージ作成補助情報の一部または全部として含む前記第2のデータを作成する、請求項1または2記載のデータ処理装置。

- [13] (補正後)前記第1のデータは、メッセージデータであり、

前記メッセージ作成補助情報は、前記メッセージデータの作成のために使用されたテンプレートデータを特定するIDを含み、

前記データ処理装置は、さらに、

取得済みのテンプレートデータと、前記テンプレートデータを特定するIDとを対応させて記憶する記憶部を備え、

前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報内の前記テンプレートデータを特定するIDに対応する前記テンプレートデータを前記記憶部から読出して、前記読出したテンプレートデータを利用して、前記メッセージ閲覧用情報の編集の一部または全部を行なう、請求項1または2記載のデータ処理装置。

[14] (補正後)前記第1のデータは、メッセージデータであり、

前記メッセージ作成補助情報は、前記メッセージデータの作成のために使用されたテンプレートデータを特定するIDを含み、

前記メッセージ編集作成部は、前記メッセージ作成補助情報内の前記テンプレートデータを特定するIDを外部の装置に送信し、前記外部の装置から前記送信したIDに対応する前記テンプレートデータを取得し、前記取得したテンプレートデータを利用して、前記メッセージ閲覧用情報の編集の一部または全部を行なう、請求項1または2記載のデータ処理装置。

[15] (補正後)メッセージデータを作成するときに用いられるメッセージ作成補助情報とメッセージデータを閲覧するために用いられるメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む、メッセージデータまたはテンプレートデータである第1のデータを取得する取得ステップと、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を利用して、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を編集することで前記メッセージ閲覧用情報を編集し、前記メッセージ作成補助情報と前記編集されたメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む第2のデータを生成するメッセージ編集作成ステップとを含み、

前記第1のデータおよび前記第2のデータに含まれる前記複数個の情報の各々は



、前記メッセージ作成補助情報と前記メッセージ閲覧用情報のいずれか一方または両方の構成要素である、データ処理方法。

- [16] (補正後)メッセージデータを作成するときに用いられるメッセージ作成補助情報とメッセージデータを閲覧するために用いられるメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む、メッセージデータである第1のデータを取得する取得ステップと、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を利用して、前記メッセージデータを閲覧のために再生するメッセージ再生ステップと、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を利用して、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を編集することで、前記メッセージ再生部により再生した前記メッセージ閲覧用情報を編集し、前記メッセージ作成補助情報と前記編集されたメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む第2のデータを生成するメッセージ編集作成ステップとを含み、

前記第1のデータおよび前記第2のデータに含まれる前記複数個の情報の各々は、前記メッセージ作成補助情報と前記メッセージ閲覧用情報のいずれか一方または両方の構成要素である、データ処理方法。

- [17] (補正後)コンピュータを、

メッセージデータを作成するときに用いられるメッセージ作成補助情報とメッセージデータを閲覧するために用いられるメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む、メッセージデータまたはテンプレートデータである第1のデータを取得する取得部と、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を利用して、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を編集することで前記メッセージ閲覧用情報を編集し、前記メッセージ作成補助情報と前記編集されたメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む第2のデータを生成するメッセージ編集作成部として機能させるための、

前記第1のデータおよび前記第2のデータに含まれる前記複数個の情報の各々は、前記メッセージ作成補助情報と前記メッセージ閲覧用情報のいずれか一方または両方の構成要素である、データ処理プログラム。

[18] (補正後)コンピュータを、

メッセージデータを作成するときに用いられるメッセージ作成補助情報とメッセージデータを閲覧するために用いられるメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む、メッセージデータである第1のデータを取得する取得部と、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を利用して、前記メッセージデータを閲覧のために再生するメッセージ再生部と、

前記取得した第1のデータ内に含まれる前記複数個の情報のうち、前記メッセージ作成補助情報を構成する情報を利用して、前記第1のデータに含まれる情報のうちの前記メッセージ閲覧用情報を構成する情報を編集することで、前記メッセージ再生部により再生した前記メッセージ閲覧用情報を編集し、前記メッセージ作成補助情報と前記編集されたメッセージ閲覧用情報とを構成する複数個の情報を含む第2のデータを生成するメッセージ編集作成部として機能させるための、

前記第1のデータおよび前記第2のデータに含まれる前記複数個の情報の各々は、前記メッセージ作成補助情報と前記メッセージ閲覧用情報のいずれか一方または両方の構成要素である、データ処理プログラム。

[19] (削除)

[20] (削除)

[21] (削除)

[22] (削除)

[23] (削除)

[24] (削除)

[25] (削除)

[26] (削除)

[27] (削除)

- [28] (削除)
- [29] (削除)
- [30] (削除)
- [31] (削除)
- [32] (削除)
- [33] (削除)
- [34] (削除)
- [35] (削除)
- [36] (削除)
- [37] (削除)
- [38] (削除)
- [39] (削除)
- [40] (削除)
- [41] (削除)
- [42] (削除)
- [43] (削除)
- [44] (削除)